

阪和自動車道みなべ舗装



発注者 西日本高速道路株式会社 関西支社

竣工日 2021年12月20日

工事概要	面積/長さ
アスファルト舗装工	22,000m ²
切削オーバーレイ工	12,500m ²
排水構造物工	2,500m
防護柵工	4,000m
床版防水工	11,000m ²

阪和自動車道の付加車線事業における「みなべIC」を中心とした総延長6,130mの4車線化舗装工事です。みなべICを境に4車線化時の上り線から下り線に変化する道路線形のため、仮ランプの築造、三度の夜間通行止め、IC封鎖による集中工事などの制約中施工を進め、2021年3月27日に4車線供用を開始しました。



監理技術者
中村 哲人

特殊な道路線形であった「みなべIC」との接続箇所や、本線との取合い箇所は、一見して完成形が思い描けない感じでした。社員全員で綿密に打ち合わせを行い、日々でき上がっていく現場と共に、若い社員の多かった事務所自体の成長を感じました。完成検査では思わず感極まり、涙を流す程の思い深い現場となりました。本線開通後の路下整備工事も含め、無事故無災害を達成し、誠心誠意全力で工事に取り組み、発注者から工程管理に関しては特に高評価を受け、表彰状と感謝状をいただきました。

R2国道50号桜川筑西IC関連(延伸)長方地区舗装他工事



発注者 国土交通省関東地方整備局

竣工日 2022年2月28日

工事概要	面積/長さ
土工事	7,500m ³
地盤改良工	3,700m ³
アスファルト舗装工	9,830m ²
排水側溝工	986m
縁石工	668m
区画線工	6,191m
仮設工 現道部切替工事	600m

国道50号と北関東自動車道 桜川筑西ICとの連携の強化、および国道50号の幹線道路として広域的に円滑な交通の確保を目的とした4車線化に向けての工事です。事業延長1.2kmのうち、当該工事は延長600mを担当しました。ICTを活用しアスファルト舗装を施工し、新設道路への供用開始までを行いました。



現場代理人
藤田 恭平

国道50号は、朝夕の交通量が非常に多いため、渋滞が発生しやすく、また、昼夜間は信号が少ないため、交通車両の速度超過が目立つ道路です。そのような施工条件の中、今回工事で懸念されていたことが交通事故対策でした。当工事で交通事故発生の可能性が高いと考えられたのは、現道から新設道路側へ車線切替工事でしたが、切替工事の道路設計、保安計画、工程管理、人員配置等への入念な打合せを行った結果、無事無事故で車線切替ができました。また、17か月に渡る工事期間でしたが、工事の事故災害が1件もなく完工することができたこともあり、工事全体として高い評価をいただきました。